

富士見市公民館運営審議会議事録

開催日時	平成27年5月20日(水)午後7時00分～9時00分
会場	南畑公民館 2階 会議室
出席者	世羅陽一郎 瀬戸篤 山川亜紀子 田中聰行 秋元富美子 中正美 高橋康子 是永国彦 山本百合子 川端正則 平井光夫 尾形忠男 浅見孝志 (以上13人) 鶴瀬公民館長 南畑公民館長 水谷公民館長 水谷東公民館長 鶴瀬公民館担当 (合計18人)
欠席者	吉川英亨 関根健一 本田和子
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
会議録確認	世羅陽一郎 委員
公開・非公開	公開(傍聴人0人)
会議内容	
<p>あいさつ後、傍聴希望者がいないことを確認。 鶴瀬公民館長あいさつ。</p> <p>1、 報告事項</p> <p>(1) 平成26年度事業評価・富士見の公民館について 鶴瀬公民館長より、資料に基づき説明。また、作成において工夫した点なども説明。 議長：何か意見や質問があれば、発言をお願いしたい。 委員：意見なし。 議長：私から質問させていただきたい。鶴瀬公民館の平成25年度の利用統計と26年度の利用統計を比較したところ大幅な伸びがあるが、その要因は何か。 館長：公民館まっりの来館者の数など、積み上げてきた数字に基づくもの。</p> <p>(2) 平成27年度の公民館の運営方針について 館長：前回の公運審会議で出た意見に基づいて、表の作りなども工夫して作った。27年度の事業計画を横並びで表示するなど、見やすくした。 鶴瀬：学級講座などについて報告。今年度の特徴として、施設提供(給排水管工事日程)のことを報告。 南畑：学級講座などについて報告。ふれあい劇場など、人気講座はしっかりサポートしたい。 水谷：学級講座などについて報告。高齢者サロン、介護サロン、ピースサロンなど、サロン事業を展開していきたい。 水谷東：学級講座などについて報告。川の探検隊、いかだラリーなど充実していく。 議長：何か意見や質問があれば、発言をお願いしたい。 委員：水谷のピースサロン、語り部が少なくなるので、DVDで記録を残してほしい。 水谷：今まで小学校で行った体験の話、DVDに残している。鶴瀬とも協力して行う。 委員：水谷東の利用者懇談会には、公民館運営審議会の委員は参加しているか。 水谷東：している。</p>	

(3)その他

①各地区公運審会議の報告について(前回、南畑と水谷東の報告が全体会に間に合わなかった為)

- ・南畑：26年度の事業評価をしたこと、企画運営委員会の方向性を確認したことなどを報告。
- ・水谷東：事業評価をしたこと、消防訓練をしたことなどを報告。

②その他

特になし。

2、協議事項

(1)公民館事業報告と評価についての提案について

前回委員の一人から提案のあった件に関し、館長より概要説明。

①提案1. について

毎年各館においては事業評価がなされているが、そのことに対する「今後の対応区分」という欄がある。この欄の内容を明確に表現した方がよい。

②提案2. について

事業報告書の記載方法が館によって違いが見受けられるが、統一した方がよい。

議長：前回の会議の中で提案をよく読んだうえで次回の会議で改めて協議となっていたが、意見等あるか。本日結論が出なくても、課題としての意見でも構わない。

委員：まだ十分読み切れていない。

委員：個々の事例に応じ、具体的に対応策を検討していくとわかりやすい。

委員：25年度と26年度の報告書を比較してみた時、2年続けて同じ課題があった。課題をより具体的に検討してもらうこと、そしてその課題ができることかそうでもないかも検討することで、課題がより整理される。こういった作業が、仕事の流れを少しずつ改善する入口にできるとよい。

議長：方向付けをしつつ、意見交換ができるとよい。

委員：本日配布された「富士見の公民館」にも、館によってフォーマットの違いが一部ある。この辺も統一した方がよい。

水谷：作る側から申し上げると、公運審の方には資料に統一性があれば評価していただきやすいと思われる。一方言い訳になるが、今まで人事異動による弊害もあったと思われる。

委員：私も極力事業に参加しようとし、実際そうした。資料だけもらっても、それだけでは評価しにくいので。担当職員の意見まで直接聞けると、また違ってくる。

議長：統一されていない様式を、まとめ上げて検討してほしい。

水谷東：東では、様式に担当職員と参加者の声が載せてあるので、評価に当たり参考にしやすいと思う。

議長：他にも意見があれば、どうぞ。

公運審は利用者（地域住民）と公民館のパイプ役。その意味でも、双方とのコミュニケーションは大事。

他に意見がなければ、次回にも今回の提案の件をもう少し深めて意見交換していきたい。よろしいか。

委員：了承。

(2) 公の施設予約システムの導入について

館長：システムの導入については利用者の不安がある中、現状でできる説明をし、意見を聞いていきたい。

予約システムの目的は、概ね以下の通り。

- ・システムにつながるパソコンなどから、予約状況の確認と仮予約ができるようにする。
- ・利便性の向上、事務の効率化も目指す。

なお、皆さんの意見をうかがう中で、より良いものにしていきたい。具体的な運用については、じっくり対応していく必要がある。

議長：意見があれば、どうぞ。

館長：今まで、予約状況を紙に書いて知らせしてほしいとの声があったが、それが今後はパソコン上で確認でき、仮予約までできるということがポイント。

委員：使う立場で、タッチパネルの方がありがたい。

委員：利用者からの意見やニーズがあってこうなったと思う。母が鶴瀬公民館を使っているが、カレンダーに予約の日が赤丸でしるしがしてある。高齢者には、なるべく簡単なものがよいと思う。基本的には、賛成。

委員：ふれあいプラザには導入されるか。

館長：導入される。

委員：小学校のグランド開放にも適用されるのか。

館長：こちらは学校施設の開放の取り組みなので、現時点では予定していない。

委員：自動抽選方式とは。

館長：希望日を一定期間内にシステムに入れてもらい、その締切り日の翌日に機械が公平に抽選するもの。

委員：高齢者サロンをやっていて、活動日が決まっている。ボランティアについては優先という考えはないか。

水谷：今のままの利用団体数だけであればその対応方法も可能性があるが、そこに新規団体が入ってくるとそうはいかなくなる。

水谷東：水谷東公民館は高齢者の利用者が多い。これらの方もシステムをいずれは使えるようになると思うが、一定の試行期間を設けてからの本格稼働がよいと思う。一方、雪が降っても今までのように公民館に行く必要はなくなる。便利に感ずる人も増えると思う。

委員：自動抽選方式について、メリット・デメリットを出してほしい。

議長：準備したい。

(3) その他

議長：その他何か協議事項はあるか。

委員：特になし。

副議長：特に他になければ、以上を持って閉会とする。

次回の開催は、平成27年7月15日(水)、鶴瀬公民館にて行う。

